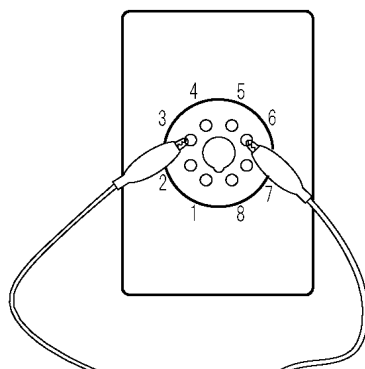


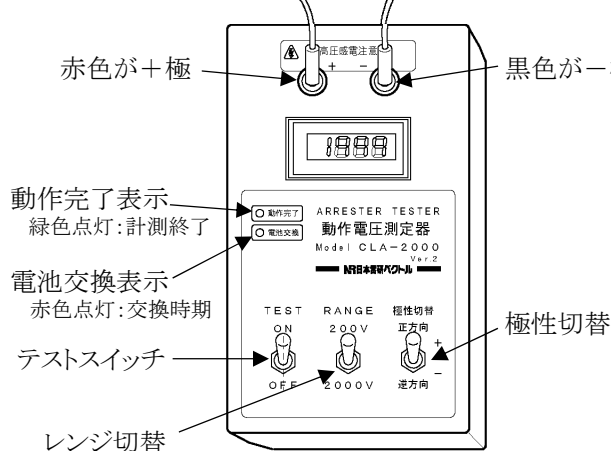
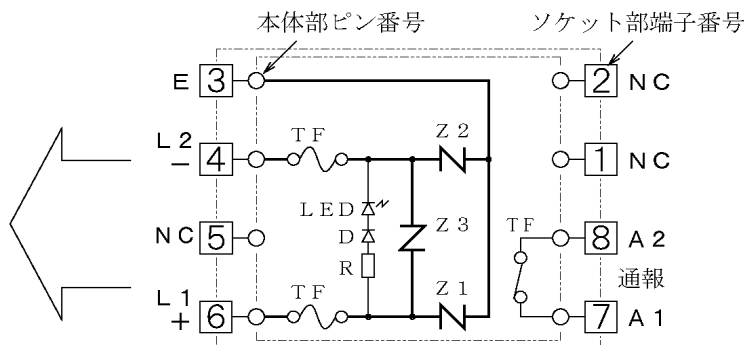
避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧(素子に微小電流を流したときの電圧)の測定値で判断します。

## ●端子配列と結線図

本体ピン側の図



## ●本体内部の回路図



## ●点検前のご注意

- ① 配線されたソケットより外しておこなってください。
- ② 感電にご注意ください。  
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。  
2~3回程度おこなってください。

## ●点検後不具合で新品交換待ちになった場合 \*1

- ① 劣化と判断した場合であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。  
交換までの雷サージ対策となります。

## チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mAの電流制限付きです。

1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。

TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

## ●素子の良否判定

- ① チェッカーCLA-2000を図のように接続してください。
- ② 測定するサージ吸収素子の動作電圧に合わせてRENGE(レンジ)を切り替えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外は劣化(不良)と判定します。\*1

## ●操作手順

### <2線式交流電源用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 ⊕ ⊖	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること
接地間 Z1	E/L1	3/6	2000V	423-517の範囲であること
接地間 Z2	L2/E	4/3	2000V	423-517の範囲であること
線間 Z3	L2/L1	4/6	2000V	423-517の範囲であること
通報	A1/A2	7/8	200V	0V 短絡にて良好 OVERにて否

↑:ランプ回路がある為、極性を指示通りにおこなってください